



⑰ 〔新堀村泥入名寄帳〕 (部分)

文化10年(1813)4月12日

新堀村に残された、泥入り地の書上帳です。この帳簿では、泥入り地を所有者別に一筆ごとに記した上、卯泥入の判を押し、その後の起返しの年おこしかえも記しており、村の復興の進展具合も推測することができます。「酉起返り」(泥入り後最初の酉年は6年後)という記述だけでは復旧までの正確な年数を知ることはできませんが、重機など無い時代において、その復旧作業がいかに大変なものであったかということが想像できます。

前橋市新堀町自治会文書 P8209 No.12-1

【史料⑰】 〔新堀村泥入名寄帳〕 (部分)

〔釈文〕

南	屋敷三畝廿五歩 <small>酉起返り</small> 卯泥入	郡兵衛
同所	下々畑四畝七歩 <small>酉起返り</small> 卯泥入	
郷士	下畑貳畝歩 卯泥入	
中嶋	下々畑七畝拾五歩 卯泥入	
かふし	下々畑壹反五畝貳歩 卯泥入	畑起返
同所	下々畑壹畝歩 卯泥入	
西	下々畑六畝拾四歩 卯泥入	
同所	下々畑八歩 卯泥入	
西	下麦田壹反三畝貳歩 卯泥入	
南	上田壹反三畝三歩 卯泥入	畑起返
北	屋敷田三畝八歩 卯泥入	<small>酉</small> 畑起返
同所	屋敷壹反七畝拾九歩	